

第18回 曽於市社会福祉大会

福祉作文 2022

目次

学校名	学年	氏名	作品名	ページ
財部小学校	6年	長瀬 拓己	いつも心にバリアフリー	P 1~3
深川小学校	6年	宮園 宏樹	思いやり	P 4~6
檍小学校	3年	椎屋 諒亮	「思いやり」ってなんだろう	P 7~10
光神小学校	6年	郡山 愛優	強要される思いやり？	P 11~13
月野小学校	5年	上村 桜太	後かいするくらいなら	P 14~16

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
2 段落の始めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(5月22日曜日)

いつもバリアフリー

財部小六年 長瀬拓己

ぼくは福祉と聞いて連想するのは、お年寄りの介護。盲導犬、ボランティアこのうつしかし正直浮かびません。なんとか人を助ける事が福祉と言う事は知つていました。

ぼくのお母さんは、ぼくが産まれる時、病気になり今は働いていませんが結婚するまでは介護福祉士として施設で働いていたそうです。

曾於市立財部小学校

確かにお母さんはお年寄りが大好きです。ぼくのおじいちゃんが入院していた時も、オムツを替えたり、入れ歯を洗ったりしてあけてしましました。

ぼくには89才のいいおはあちゃんがいます。ひいおはあちゃんにとて、ぼくは初めて遊びに行くといつも学校の事やじゅくの事を聞いてきます。ぼくはたんじんと話すだけでは当然会話が途切れてしまい何を話していくか分かりります。そして帰る時は、つま

3 詩や文はどの行も三ばんめのマスから書き、頭をそろえましょう。
4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

2 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の始めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(5月 22 日 曜日)

No. 2

をつきながらぼくが見えなくなるまで手を引
つてくれます。そのすぐたを見た時手を引
いてあけたり、足をコツツサージしてあけられは
良かたなしといつも後悔します。それに比
べお母さんは当り前のようにはいいおばあち
ゃんに寄りそい、体を支えてあけていました。
その時のひいおばあちゃんの顔は笑顔でした。
ぼくは頭の中では分かつていつも体が動かない
いのです。そして後から暗い気持ちになりま
す。

曾於市立財部小学校

6年生になり一年生のおせ話をしなくては
なりません。ある日一年生が教室から分かれず
こまでつている様子でした。ひいおばあちゃん
の事のように後悔したくなかったので勇気を
出して

7 とラしたのし

と声をかけ教室まで連れて行きました。その
時一年生は

7 お兄ちがいもありかとラ

と笑顔を見せてくれました。ぼくは心の中に

3 詩や文はどの行も三ばんめのマスから書き、頭をそろえましょう。

4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなどころはけずりましょう。

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
2 段落の始めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(5月 22日 曜日)

ハアツとひまわりがさいたかのようが明るい
気持ちになりました。自分から行動し、助ける
事がこんなにハを流あわるんだなと実感しま
した。

それ以来ほんやはいおはあちかへの家に行
つてもお散歩行こうかと自然に話せますよ
うになり、気付いたら、ひいおはあちかへを
支えながら歩いていました。小さな勇氣でこ
んなにも友方ある自分におひろひります。

曾於市立財部小学校

ども、必要なし大切です。でもほんか考えよ
福祉とは、かはり一番はハだと思うのです。
ハが左いと動けない、言葉も出せません。温
かいハと、広いハまさにハリアフリーハビ
す。

ほくはこの先困つている人を見かけたら、
迷わず、ハリアフリーハビ人助けできよ人
間に入りたいです。

終
あり

3 詩や文はどの行も三ばんめのマスから書き、頭をそろえましょう。
4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

思いやり

曾於市立深川小学校 六年 宮園 宏樹

「思いやり」・・・その人の身になつて、親切に考えてあげること。

「思いやり」と言う言葉を国語辞典で引いてみると、このように書いてあつた。ぼくは今まで、思いやりとは、ハンドルキヤツプがある子どもやお年寄りの方と一緒に横断歩道を渡つてあげることや荷物を持つてあげることなど、特別なことだと思つていたので、

思いやりを実行するのは、大変なイメージがあつた。

でも、この辞典の意味を改めて考えると、ぼくも普通に「思いやり」を実行していった。家で母の家事の手伝いをしたり、買い物の時に荷物を持つたり当たり前のようにしていた学校では忘れ物をした友達に道具を貸してあげたり、何をしていいのか分からず困つている下級生に声をかけて教えてあげたりしていった。特別なことではなくて、ふつうに「思い



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

やりかできていることに、自分で驚いた。
 たた、一つだけぼくは自分の中で特別な思いやりをしていた。それは双子の兄に 대해서だ。兄は、四歳から六歳まで足に装具を着けていたので、車いすの生活をしていた。ぼくは、兄に服を着せてあげたり車いすをおしだりしていた。ぼくがやらないといけないという気持ちもあつたけど、兄に喜んでもらえるのが一番嬉しかった。兄が笑顔になると、くれるとぼくや家族も笑顔になつた。

ぼくの父は「放課後学童」の先生をしてくる。ハンディキャップのある子どもたちのお世話をしたり活動支援計画書を作ったり保護者の方に説明をしたりいろいろな仕事がある。時には大崎や志布志などにも出張していきる。父は元々ちがう仕事をしていたらしくかる。兄の病気をきっかけに、ハンディキャップ子どもたちや家族をサポートしたいという思いから、この仕事を始めたらしいです。
 また、母は看護師として、高齢者のお々の

詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げる書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

お世話をしている。送迎、トイレ、入浴の介助、体調管理、時には話し相手として悩み事を聞いたりしてるらしい。父の仕事も母の仕事を、いろいろな人に思いやりをもたないとできない仕事だ。こうやって振り返つてみると、自分の生活の中には、当たり前のようないやりてなのだ。

ぼくの将来の夢は、いろいろ人を救い、

助ける「自衛官」になることだ。犯罪や災害に巻きこまれた人たちを助けて生きたい。ぼくが大人になるまであと十年くらいだと思つて、いるけど、成人するまでは六年だ。それが長いのか短いのか。かっこいい自衛官になれよう。この間に心と体をまたんでもいいと思う。十年後、自衛官になつても、少なくとも、自分の生活の中で関わるいろいろな人と、思いやりを持つて接していく。仲のよい人、知らない人、ハンディキャップ

20×20

4 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げる書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

「思いやり」ってなんだろう

横小学校 三年 桜屋 誠亮

ある日のじゅぎょう中で先生が、「思いやりについて、考えてみよう」と言いました。ぼくは、「思いやりって何だろう」と考えてみました。友だちは、「まつている人を助けてあげることです。」人にやさしくすることです。

などと、発表してしました。ぼくも、自分なりに思いやりについて考えてみました。その時に思いうかんできたことは、あいいちやんとおばあちゃんの手つだいで、からいものなえをうえた日のことでした。

ぼくのおじいちやんの家には、広いはだけがあります。そこでは、にんじんや大根、かういもなど、たくさん人の野さいをそだてるあります。ぼくも小さいころがうはだけに行つて、おじいちやんやおばあちゃんが、からいものをうえるのを見ていました。でも、手つだいは、

20×20



(月 日 曜日)

していませんでした。そんなぼくが、なぜ今回手つだいをしたかと言ふと、おじいちゃんたちが大へんそうなので、少しでも楽にさせてあげたいと思つたからです。

学校が休みの日に、おじいちゃんたちはたけへ行きました。まずは、なえうえをするきかいにのりました。それにのりながら、一本ずつなえをうえていきます。土の上にがさつて、いる、黒いビニールの丸いしるしをじるしにしながらうえていきます。これが、

なかなか大へんな作業です。しるしからずれてしまうと、またうえなおさないといけません。ぼくは、まちがえないように、しんげんにうえていきました。

なえがなくなると、新しいなえが入ったはこをとりに行かないといけません。そのはこがおもくて、運んでくるのが大へんでした。でも、さいじまでがんばりました。

全がのなえをうえおえた時に、おばあちゃんが、

20×20



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

曜日)

「ありがとう」

と、言つてくれました。ぼくは、とてもうれしくて、あたたかい気持ちになりました。これからも、おじいちゃんたちの手つだいをしていいきたいなと思いました。

ぼくは、この体けんを通して、鬼いやりとは、人を助けることだと思いました。鬼いやりをもう一度人を助けると、とてもやさしくて、いい気持ちになりました。助けた方も、助けられた方も、やさしい気持ちになります。思

いやりつで、すてきなことだなと思いまし。これからは、学校でも友だちに鬼いやりをもう一度、せつしていきたいと思いました。友だちがけがをしたら、けん室につれて行ってあげたいです。友だちがこまつついたら、つだいじょうぶ? と声をかけてあげたいです。みんなが思ひやりをもつて行動すれば、楽しくて、やさしい世界になると思ひます。そんな世界になるといいなと思いました。

20×20



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

のある人、どんな人にも差別をせずに、「思
いやり」でたくさんの人気が笑顔になり喜ん
くれるようにしてほしい。そうすれば
、ぼくの嬉しいもどんどん増えていくと思う
。思いやりに、「難しい」「大変」なイ
メージがある人に言いたい。特別なことをし
なく「も」「思」いやりはそこら中にあふれて
いて、きっとみんなも気付かなりうちにして
りされたりしている。だから、ぼくも「思
いやり」を続けて、いつかかっこいい自衛官の
夢をつかみたい。

20×20



強要される思いやり？

光神小六年郡山愛優

私は、先日、こんなニュースを見ました。
横断歩道で小学生がクルマにお辞儀！？指導方法に批判の声続出！」

これは、警察官が「小学生に横断歩道の正しい渡り方について指導する際、停まってくれた車の運転手さんにお辞儀をしました」と言ふたことに賛否両論の声があつたというものです。

意見の中には、「礼儀は強要するものではない。」、「車が停まるのは義務なのだから感謝する必要はない。」というものがありました。確かに、「歩行者が横断して、いたり、横断しようとしたりするときには車は一時停止しなければいけない」という決まりがあります。つまり、車が停まるのは義務なのです。しかし、その一方で、「ゆずり合う気持ちは大切だ。」「習慣だと思う。」「日本人らしくて良い。」と、いう意見もあります。

4 と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
おはなししたところは、「」の中に入れてきょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

1 だいもくは、一ぎょうめに、学校・学年・組、名まえは二ぎょうめに書き、文しようは、三ぎょうめの一ばんめのマスから書きましょう。
2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくごとにぎょうをかえましょう。
3 詩や文は、どのぎょうも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

1 大いもくは、一ぎょうめに、学校・学年・組、名まえは二ぎょうめに書き、文しようは、三ぎょうめの二ばんめのマスから書きましょう。
 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとにぎょうをかえましょう。
 3 詩や文は、どのぎょうも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

私は、なぜこのような意見が出たのか、両親と一緒に考えてみました。父は、

ルールを守ってくれてありがとうという気持ちがあるからじゃないかな。

と言いました。

「そうだね。相手はルールを守つただけかもしれないけど、安全に横断歩道を渡ることができます。だから、感謝の気持ちを伝えたいよね。」
 母は、言いました。

私も車を運転して、いる人が停まってくれたらうれしくて、「ありがとうございます」という気持ちになります。また、歩行者に礼をされたら、相手の人もルールを守つて良かったなと思います。気持ちが良いだろうなと思います。

二コースでは警察の方が、

「子供たちがお礼をして、運転者とコミュニケーションを取り、双方を思いやることで、事故を防ぐことにつながる。」

と、おしゃってきました。

4 「と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
 おはなししたところは、「」の中に入れてぎょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

1 大いものは、一ぎょうめに、学校・学年・組、名まえは一ぎょうめに書き、文しようは、三ぎょうめの二ばんめのマスから書きましょう。
 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとにぎょうをかえましょう。
 3 詩や文は、どのぎょうも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月) (日) (曜日)

田) いやりの心が事故を減らすと思うと確
 かに思いやりは、強要されるものではな
 いけれど、思いやりのおかげで気持ち良く生活が
 できるのだと、考えらようになりました。
 例えば、買ひ物のときには、お店の人は物を
 売るのが仕事で当たり前の事かもしれない
 けれど、私たちは、「ありがとうございます」とお礼を言います。逆に、私たちは「欲し
 い物があり、お金を払うのは当たり前だけど、
 お店の人も、「ありがとうございます」と、言ってくれます。
 このように、強要されていなくても、思い
 やりをもつて相手に伝えることで、私も気持ち
 ち良く過ごすことができます。
 私は、これからも横断歩道で車の運転手ご
 んが停まってくれたときは、強要されるの
 ではなく、思いやりの気持ちをもつて、礼を
 して、「ありがとうございました」というのを伝えたいです。

4 と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
 おはなししたところは、「」の中に入れてきょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。

段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

後かいするくらいなら

月野小 五年 上村 桜太

ぼくは小さくころから、水泳を習っていま
す。今でも、三年生の時の出来事を思い出
ます。

着がえの時のことです。この折をしていた
人がいました。その人は大変そうにロツカ
ーを開けていたので、大じょくぶかなあと最初
は見ていたので、大じょくぶかなあと最初
大変そうにしていたので、と、へに、

「大じょくぶでイカレ」と言つて、手伝いました。その人にたのまれ
た物をカバンから取つてあげたり、タオルを
渡したりしてあげました。その人のワッカ
ーは一番上だつたので、ゼのびをして少し大変
でした。その時、もう水泳は始まつていた
ど前にお母さんから、「こまつている人がいたら、助けてあげなさ
と言われていたので、ぼくはずつて手伝つて

20×20

No. 1

3 詩などの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。

4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日曜日)

「ました。思つていたより時間がかかり、十五分位ずつとしていました。ビルに早く入りたいと思つたけど、こんだけやつたのに、途中で行つてしまつのは、なんかモヤモヤしそうだなと思い、ずっと手伝つていました。その人は、

「大じょうぶかな。もう始まつてるんじやない」と心配してくれました。でも、ぼくは、

「大じょうぶですか」と心配してくれました。終わった時

と答えて、手伝いを続けました。終わった時

その人に

「ありがとうございます」とう。

と言われて、やつておかつたと思いました。

ぼくがなぜこの人を助けたかといふと、こまつている人が「ても、いつも話しかけられました」など、まあいやと思つてしまふからです。理由は、はづかれました。

そして、心がモヤモヤして、あの時ああすれぼさかた、大じょうぶですかから声をか

20×20



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはつきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げる書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日曜日)

ければよか、たなご色々なことを思って、結局後かいしてしまつります。いつもそうだから、もう後かいするぐらいうらや、ちやえーと思つたからです。

これからは、いいことをするのだから、まゝいなかじやなくて、助けあげようと思ひます。そして、ぼくの姿を見て、周りの人たちもぼくのまねをしてくれればうれしいです。それは、助け合いの輪が広がっていくことになるからです。今、戦争をしている国がある

けれど、助け合いの輪が広がっていけば、地球から戦争もなくなり、平和でやさしへにあふれる星になるんじゃないかなかと思ひます。また、実際にそくなつてほしです。

4 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

